



109

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ①

名前

組 番

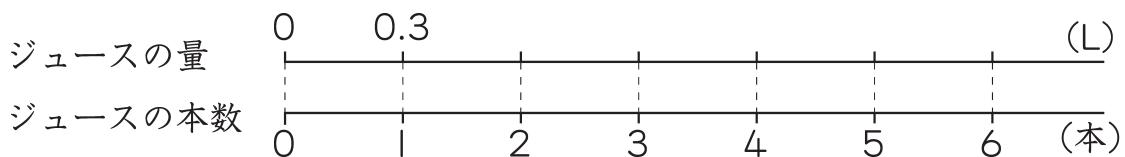
ねらい

純小数×整数の乗法計算の仕方を考える。

(考) 技 知

- ① 0.3L入りのジュースを6本買いました。

ジュースは、全部で何Lあるでしょうか。



- ① どんな式を書けばよいでしょうか。 <式> $0.3 \times 6 = 1.8$

- ② あやのさんとけんじさんが、計算のしかたを説明しています。

□にあてはまる数を書きましょう。

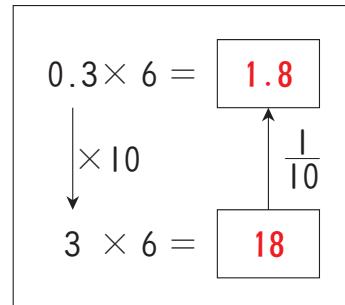
<あやのさん> 0.1をもとに考える

$$\begin{aligned} 0.3 \text{は } 0.1 \text{の } & \boxed{3} \text{ こぶんだから、 } 0.3 \times 6 = 0.1 \times & \boxed{3} \times \boxed{6} \\ & = 0.1 \times & \boxed{18} \end{aligned}$$

$$0.1 \text{の } \boxed{18} \text{ こぶんだから、答えは } \boxed{1.8}$$

<けんじさん> かけられる数を10倍して考える

$$\begin{aligned} 0.3 \times 6 \text{ の } 0.3 \text{を } & \boxed{10} \text{ 倍すると} \\ & 3 \times 6 \text{ になるので、その答えを } \frac{\boxed{1}}{\boxed{10}} \text{ すると} \\ \text{答えは } & \boxed{1.8} \text{ になります。} \end{aligned}$$



- ② 次の計算を、かけられる数を10倍にして考えましょう。

□にあてはまる数を書きましょう。

$$\begin{aligned} ① \quad 0.4 \times 6 = & \boxed{2.4} \\ \downarrow \times 10 & \uparrow \frac{1}{10} \\ \boxed{4} \times 6 = & \boxed{24} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} ② \quad 0.7 \times 8 = & \boxed{5.6} \\ \downarrow \times 10 & \uparrow \frac{1}{10} \\ \boxed{7} \times 8 = & \boxed{56} \end{aligned}$$



110

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ②

名前

勉強した日 月 日

組 番

ねらい

小数×整数の乗法計算の仕方を考え、筆算ができる。

(考) (技) 知

- ① 2.7×8 の計算のしかたを考えましょう。

<0.1をもとにして>

$$2.7 \times 8$$

0.1が(27 \times 8)こ分

$$2.7 \times 8 = \boxed{21.6}$$

<かけられる数を10倍にして>

$$2.7 \times 8 = \boxed{21.6}$$

10倍

$$\boxed{27} \times 8 = \boxed{216}$$

- ◎ 2.7×8 の積は、 27×8 の積を $\frac{1}{10}$ にしたものになる。

$$\begin{array}{r}
 2.7 \\
 \times 8 \\
 \hline
 216
 \end{array}
 \xrightarrow{\text{10倍}}
 \begin{array}{r}
 2.7 \\
 \times 8 \\
 \hline
 216
 \end{array}
 \xrightarrow{\text{答えを } \frac{1}{10} \text{ にする}}
 \begin{array}{r}
 2.7 \\
 \times 8 \\
 \hline
 21.6
 \end{array}$$

- ② 次の計算をしましょう。

① $4.2 \times 3 = 12.6$

② $2.9 \times 3 = 8.7$

③ $8.4 \times 4 = 33.6$

④ $0.9 \times 2 = 1.8$

⑤ $0.5 \times 9 = 4.5$

⑥ $13.6 \times 2 = 27.2$

⑦ $17.8 \times 6 = 106.8$

⑧ $48.7 \times 6 = 292.2$



111

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ③

ねらい

被乗数が1/100の位までの小数の場合の乗法計算の仕方を考える。

(考) (技) 知

- ① 1mの重さが1.26kgの鉄のぼうがあります。
この鉄のぼう8mの重さは何kgでしようか。

① どんな式になりますか。 <式> $1.26 \times 8 = 10.08$

② たかしさんとゆらんさんが計算のしかたを考えました。
□にあてはまる数を書きましょう。

<たかしさん>

0.01をもとに考えてみる

$$1.26 \times 8$$



$$0.01 \times (\boxed{126} \times \boxed{8})$$

<ゆらんさん>

かけられる数を100倍して考える

$$1.26 \times 8 = \boxed{10.08}$$

↓ 100倍

↑ 1

100

$$126 \times 8 = \boxed{1008}$$

- ③ 筆算のしかたを考えましょう。

1.26×8 を 126×8 と考えて
計算をしました。積の小数点は、どこに
うてばよいでしょう。
右の筆算の積に小数点をうちましょう。

$$\begin{array}{r}
 1.26 \\
 \times \quad 8 \\
 \hline
 10.08
 \end{array}$$

- ② 次の計算をしましょう。

① $1.38 \times 6 = 8.28$

② $4.79 \times 8 = 38.32$

③ $0.87 \times 7 = 6.09$

④ $3.04 \times 64 = 194.56$

⑤ $7.41 \times 27 = 200.07$

⑥ $0.86 \times 58 = 49.88$



112

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ④

ねらい

積の末位が 0 になる場合の乗法計算と、被乗数が1/1000の位まで
の小数の乗法計算ができる。

勉強した日 月 日

名前

組 番

- ① 1.24×5 の計算のしかたを説明します。

□にあてはまる数を書きましょう。

- ① 右の筆算の積の6.20と 6.2 は
同じ大きさなので、一の位の 0 をけす。

$$\begin{array}{r} 1.24 \\ \times 5 \\ \hline 6.20 \end{array}$$

- ② 0.25×3 の計算のしかたを説明します。

□にあてはまる数を書きましょう。

- ① 右の筆算は積の75と 0 を
つけたして、答えを0.75とします。

$$\begin{array}{r} 0.25 \\ \times 3 \\ \hline 0.75 \end{array}$$

- ③ 0.326×24 の計算のしかたを説明します。

□にあてはまる数を書きましょう。

- ① 右の筆算は、小数点がないものとして、
 326×24 の計算をします。
そして、積の7824を 1000 で
わって小数点をうちます。

$$\begin{array}{r} 0.326 \\ \times 24 \\ \hline 1304 \\ 652 \\ \hline 7.824 \end{array}$$

- ④ 次の計算をしましょう。

① $0.48 \times 5 = 2.4$

② $3.75 \times 4 = 15$

③ $0.14 \times 3 = 0.42$

④ $0.25 \times 2 = 0.5$

⑤ $0.034 \times 5 = 0.17$

⑥ $1.875 \times 24 = 45$



113

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ⑤

名前

勉強した日 月 日

組 番

ねらい

小数÷整数の計算の仕方を考える。

(考) 技 知

① 次の①、②、③の計算のしかたを考えましょう。

□にあてはまる数を書きましょう。

$$\textcircled{1} \quad 1.8 \div 6$$

<0.1をもとにして>

$$1.8 \cdots \cdots 0.1 \text{が } \boxed{18} \text{ こ}$$

$$1.8 \div 6 \cdots 0.1 \text{が } \boxed{18} \div \boxed{6} \text{ こ}$$

$$1.8 \div 6 = \boxed{0.3}$$

<わられる数を10倍して>

$$1.8 \div 6 = \boxed{0.3}$$

$$\downarrow 10\text{倍} \quad \uparrow \frac{1}{10}$$

$$\boxed{18} \div 6 = \boxed{3}$$

$$\textcircled{2} \quad 6.4 \div 2$$

<0.1をもとにして>

$$6.4 \cdots \cdots 0.1 \text{が } \boxed{64} \text{ こ}$$

$$6.4 \div 2 \cdots 0.1 \text{が } \boxed{64} \div \boxed{2} \text{ こ}$$

$$6.4 \div 2 = \boxed{3.2}$$

<わられる数を10倍して>

$$6.4 \div 2 = \boxed{3.2}$$

$$\downarrow 10\text{倍} \quad \uparrow \frac{1}{10}$$

$$\boxed{64} \div 2 = \boxed{32}$$

$$\textcircled{3} \quad 4.8 \div 6$$

<0.1をもとにして>

$$4.8 \text{は } \boxed{0.1} \text{ が } \boxed{48} \text{ こ}$$

$$4.8 \div 6 \text{は } \boxed{0.1} \text{ が } \boxed{48} \div \boxed{6} \text{ こ}$$

$$4.8 \div 6 = \boxed{0.8}$$

<わられる数を10倍して>

$$4.8 \div 6 = \boxed{0.8}$$

$$\downarrow 10 \text{倍}$$

$$\boxed{48} \div 6 = \boxed{8}$$



114

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ⑥

ねらい

小数÷整数の計算の仕方を考え、筆算ができる。

(考) (技) 知

- ① 次の①、②、③の筆算の□にあてはまる数を書きましょう。
また、商には小数点もうちましょう。

$$\begin{array}{r} \boxed{1}.\boxed{7} \\ 5) \underline{8.5} \\ \boxed{5} \\ \hline \boxed{3}\boxed{5} \\ \boxed{3}\boxed{5} \\ \hline 0 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \boxed{1}\boxed{3}.\boxed{5} \\ 7) \underline{94.5} \\ \boxed{7} \\ \hline \boxed{2}\boxed{4} \\ \boxed{2}\boxed{1} \\ \hline \boxed{3}\boxed{5} \\ \boxed{3}\boxed{5} \\ \hline 0 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \boxed{3}.\boxed{2} \\ 4) \underline{12.8} \\ \boxed{1}\boxed{2} \\ \hline \boxed{8} \\ \boxed{8} \\ \hline 0 \end{array}$$

- ② 次の計算をしましょう。

$$\textcircled{1} \quad 8.4 \div 3 = \textcolor{red}{2.8}$$

$$\textcircled{2} \quad 9.2 \div 4 = \textcolor{red}{2.3}$$

$$\textcircled{3} \quad 9.6 \div 6 = \textcolor{red}{1.6}$$

$$\textcircled{4} \quad 42.5 \div 5 = \textcolor{red}{8.5}$$

$$\textcircled{5} \quad 11.9 \div 7 = \textcolor{red}{1.7}$$

$$\textcircled{6} \quad 12.6 \div 3 = \textcolor{red}{4.2}$$



115

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ⑦

ねらい

商が1より小さくなる場合や除数が2位数の場合の除法計算ができる。

勉強した日

月 日

名前

組 番

考(技)知

- ① 次の①、②、③の筆算の□にあてはまる数を書きましょう。
また、商には小数点もうちましょう。

$$\begin{array}{r} \boxed{0}.\boxed{6} \\ 9) \underline{\quad} \\ \boxed{5} \quad \boxed{4} \\ \hline 0 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \boxed{0}.\boxed{3} \\ 3) \underline{\quad} \\ \boxed{9} \\ \hline 0 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \boxed{0}.\boxed{9} \\ 21) \underline{\quad} \\ \boxed{1} \quad \boxed{8} \quad \boxed{9} \\ \hline 0 \end{array}$$

- ② 次の計算をしましょう。

$$\textcircled{1} \quad 6.4 \div 8 = \textcolor{red}{0.8}$$

$$\textcircled{2} \quad 4.2 \div 7 = \textcolor{red}{0.6}$$

$$\textcircled{3} \quad 68.8 \div 16 = \textcolor{red}{4.3}$$

$$\textcircled{4} \quad 81.6 \div 24 = \textcolor{red}{3.4}$$

$$\textcircled{5} \quad 7.8 \div 13 = \textcolor{red}{0.6}$$

$$\textcircled{6} \quad 24.3 \div 27 = \textcolor{red}{0.9}$$

$$\textcircled{7} \quad 121.6 \div 38 = \textcolor{red}{3.2}$$

$$\textcircled{8} \quad 179.8 \div 29 = \textcolor{red}{6.2}$$



116

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ⑧

名前

勉強した日 月 日

組 番

ねらい

被除数が1/100の位、1/1000の位までの除法計算ができる。

(考) (技) 知

- ① 右の筆算の□にあてはまる数を書きましょう。
また、商には小数点もうちましょう。

- ② 次の計算をしましょう。

$$\begin{array}{r} 0.63 \div 9 \\ = 0.07 \end{array} \quad \begin{array}{r} 60.25 \div 5 \\ = 12.05 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 71.91 \div 17 \\ = 4.23 \end{array} \quad \begin{array}{r} 57.04 \div 23 \\ = 2.48 \end{array}$$

2	4	4
3)	7	. 3 2
6		
1	3	
1	2	
1	2	
1	2	
		0

- ③ 右の筆算の□にあてはまる数を書きましょう。
また、商には小数点もうちましょう。

- ④ 次の計算をしましょう。

$$\begin{array}{r} 7.684 \div 4 \\ = 1.921 \end{array} \quad \begin{array}{r} 0.114 \div 6 \\ = 0.019 \end{array}$$

0	0	6	8
48)	3	. 2 6 4	
2	8	8	
3	8	4	
3	8	4	
			0

$$\begin{array}{r} 3.379 \div 31 \\ = 0.109 \end{array} \quad \begin{array}{r} 0.072 \div 12 \\ = 0.006 \end{array}$$



117

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ⑨

ねらい わり進む除法計算の仕方を考える。

勉強した日 月 日

名前

組 番

(考) (技) 知

① 次の計算の□にあてはまる数を書きましょう。

また、商には小数点もうちましょう。

① 4.2を4.20とみて
計算をしましょう。

$$\begin{array}{r} 0.84 \\ \hline 5) 4.2 \\ \underline{-4} \\ 2 \\ \hline 0 \\ \underline{-2} \\ 0 \end{array}$$

② 6.3を6.30とみて
計算をしましょう。

$$\begin{array}{r} 1.05 \\ \hline 6) 6.3 \\ \underline{-6} \\ 3 \\ \hline 3 \\ \hline 0 \end{array}$$

③ 6を6.00とみて
計算をしましょう。

$$\begin{array}{r} 0.24 \\ \hline 25) 6 \\ \underline{-5} \\ 1 \\ \hline 0 \\ \hline 0 \end{array}$$

② 次の計算をしましょう。

① $4.2 \div 4 = 1.05$

② $64.2 \div 40 = 1.605$

③ $49.78 \div 76 = 0.655$

④ $0.18 \div 50 = 0.0036$

⑤ $3 \div 24 = 0.125$

⑥ $1 \div 16 = 0.0625$



118

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ⑩

ねらい

わり進む除法で、商を四捨五入して概数で表す場合の計算の
仕方を考える。

勉強した日 月 日

名前

組 番

考(技) 知

① $5 \div 3$ の計算について、次の問いに答えましょう。① $5 \div 3$ の計算を筆算でしましょう。② 商は四捨五入して、 $\frac{1}{10}$ の位までの
がい数で求めましょう。

・何の位で四捨五入すればよいでしょうか。

(約 $\frac{1}{100}$) の位で四捨五入する。

・答え

(約 1.7)

② 2.5Lのジュースを7人で等分します。

1人分は約何Lになるでしょうか。

商は四捨五入して、 $\frac{1}{100}$ の位までの

$$2.5 \div 7 = 0.357\cdots$$

がい数で求めましょう。

答え (約 0.36)

③ 商は四捨五入して、 $\frac{1}{10}$ の位までのがい数で求めましょう。答えには約を
つけようね。① $7 \div 6$

$$= 1.16\cdots$$

② $8 \div 7$

$$= 1.14\cdots$$

③ $7.8 \div 9$

$$= 0.86\cdots$$

(約1.2)

(約1.1)

(約0.9)

④ $14 \div 32$

$$= 0.43\cdots$$

⑤ $34 \div 29$

$$= 1.17\cdots$$

⑥ $30.5 \div 17$

$$= 1.79\cdots$$

(約0.4)

(約1.2)

(約1.8)

1	6	6		
3)	5		
3				
2	0			
1	8			
2	0			
1	8			
2	0			



119

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ⑪

名前

勉強した日 月 日

ねらい

小数÷整数の除法のあまりの大きさについて考える。

(考) (技) 知

① 長さが23.5cmのテープがあります。

このテープを4cmずつ切ると、4cmのテープは何本できて、何cmあまるでしょうか。

① どんな式になるでしょうか。 <式> $23.5 \div 4$

② テープの本数は、整数になるでしょうか。それとも小数になるでしょうか。

(整数) になる。

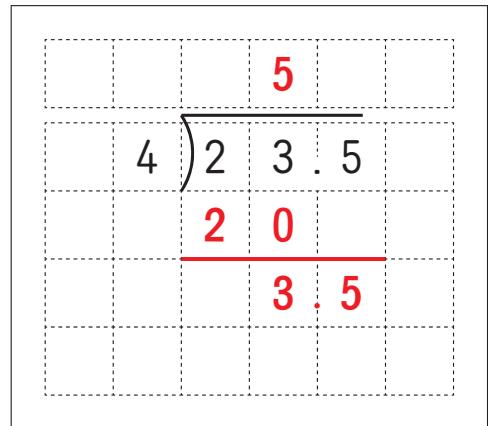
③ 商は何の位まで求めればよいでしょうか。

(-) の位。

④ 筆算をしましょう。 →

⑤ あまりはいくつでしょうか。

(3.5)



⑥ 答えを書きましょう。

(5) 本できて、(3.5) cmあまる。

② 商は $\frac{1}{10}$ の位まで求めて、あまりも求めましょう。

① $14.2 \div 6$

(2.3 あまり 0.4)

② $10.7 \div 7$

(1.5 あまり 0.2)

③ $23.6 \div 9$

(2.6 あまり 0.2)

④ $27.3 \div 15$

(1.8 あまり 0.3)

⑤ $12.1 \div 17$

(0.7 あまり 0.2)

⑥ $17.7 \div 21$

(0.8 あまり 0.9)



120

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ⑫

名前

組 番

ねらい

何倍かを表す数が小数になる場合があることを理解する。

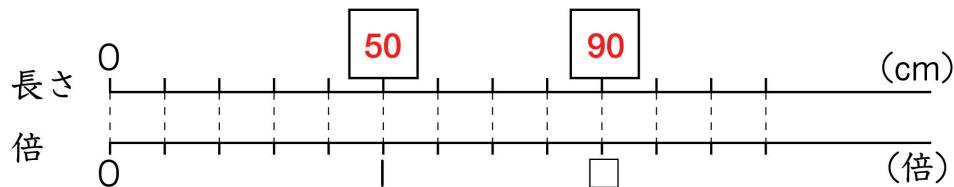
考 技 (知)

- ① 赤色のテープと白色のテープがあります。

赤色のテープの長さは90cm、白色のテープの長さは50cmです。

赤色のテープの長さは、白色のテープの長さの何倍でしょうか。

- ① □にあてはまる数を書いて、場面を数直線に表しましょう。



- ② 90cmと50cmのどちらを1とみればよいでしょうか。

答え (50) cm

- ③ 式に表して、答えを求める。^{もと}

$$\text{式} \quad 90 \div 50 = 1.8$$

答え 1.8倍

- ④ 白いテープの長さを1とみると、赤いテープの長さは何倍にあたるでしょうか。

(1.8倍) にあたる。

- ② 白のテープが6m、赤のテープが9m、青のテープが12mあります。

- ① 青のテープの長さは、白のテープの長さの何倍でしょうか。

$$\text{式} \quad 12 \div 6 = 2$$

答え 2倍

- ② 赤のテープの長さは、青のテープの長さの何倍でしょうか。

$$\text{式} \quad 9 \div 12 = 0.75$$

答え 0.75倍

- ③ 赤のテープの長さは、白のテープの長さの何倍でしょうか。

$$\text{式} \quad 9 \div 6 = 1.5$$

答え 1.5倍



121

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ⑬

名前

組 番

ねらい

小数×整数、小数÷整数についての学習を活用して問題を
解決することができる。

(考) 技 知

- ① 学校の中からかけ算やわり算が使える場面を見つけて、問題をつくります。
次のけんじさんと、ゆみさんが見つけた場面を使って問題をつくりましょう。
また、その問題の解答（式と答え）も書きましょう。

(けんじ)

学校の階段の1段分の高さは15.8cmで、1階から2階までと、
2階から3階までの段数はそれぞれ27段です。

◆かけ算の問題をつくりましょう。

(例)

- 1階のゆかから3階までのゆかの高さは何cmでしょうか。
また、何mでしょうか。

〈式〉 $15.8 \times (27+27) = 853.2$
 $853.2 = 8.532\text{m}$

答え 約853.2cm、約8.532m

(ゆみ)

学校の教室のゆかのタイルは、1辺が30.3cmの正方形です。
教室の横には、このタイルが1列に32まいならんでいます。また、
教室の天井には、正方形のパネルが横に22まいならんでいます。

◆わり算の問題をつくりましょう。

(例)

- 天井のパネルの1辺の長さは何cmでしょうか。
〈式〉 $30.3 \times 32 \div 22 = 44.07\dots$

答え 約44cm



122

16. 立体 ①

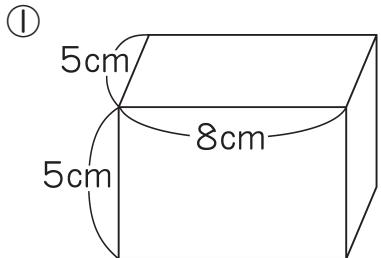
名前

組 番

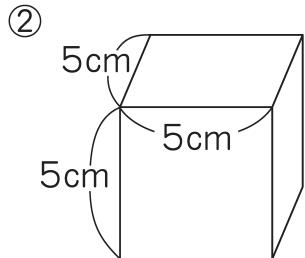
ねらい 直方体、立方体の意味を理解する。

考 技 知

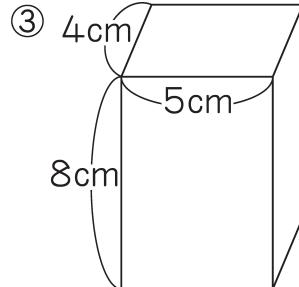
- ① 次の（ ）の中に立体の名前を書きましょう。



(直方体)



(立方体)



(直方体)

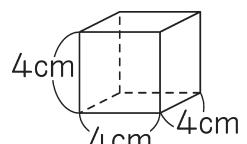
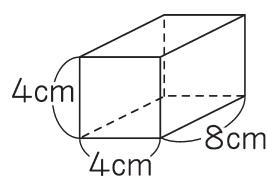
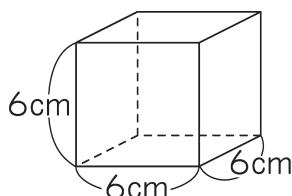
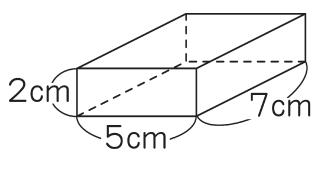
- ② 次の立体を見て、下の①～④にあてはまる立体の記号を書きましょう。

Ⓐ

Ⓑ

Ⓒ

Ⓓ



- ① 正方形と長方形でかこまれている立体

(Ⓐ Ⓑ)

- ② 正方形だけにかこまれている立体

(Ⓒ Ⓓ)

- ③ 長方形だけにかこまれている立体

(Ⓑ Ⓒ)

- ④ 立方体はどれでしょうか。

(Ⓐ Ⓑ Ⓓ)

123

16. 立体 ②

名
前

組 番

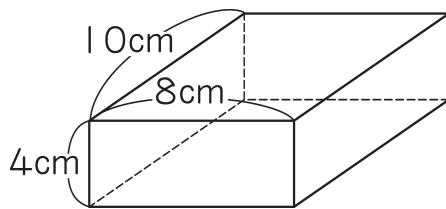
ねらい

直方体、立方体の構成要素や平面の意味を理解する。

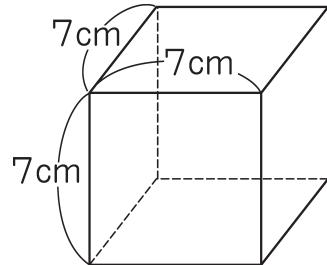
考 技 (知)

- ① 下のような直方体や立方体について、下の表のあいているところにあてはまる数を書きましょう。

直方体



立方体



	直方体	立方体
面	6	6
頂点	8	8
辺	12	12

- ① 上の直方体には、どんな長さの辺がいくつあるでしょうか。

4cmの辺(4)

8cmの辺(4)

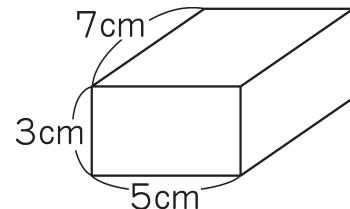
10cmの辺(4)

- ② 上の立方体には、どんな面の形がいくつあるでしょうか。

1辺7cmの(正方形)の面が、(6)つある。

- ② 右の直方体には、どんな長さの辺がいくつあるでしょうか。

3cmの辺が 4本
5cmの辺が 4本
7cmの辺が 4本



124

16. 立体 ③

名前

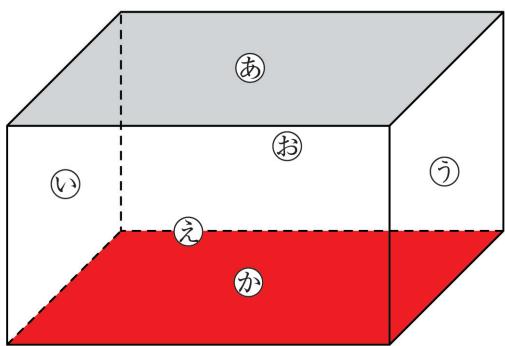
組 番

ねらい

直方体、立方体の面や辺の垂直、平行関係を理解する。

考技(知)

- ① 下の直方体を見て、答えましょう。

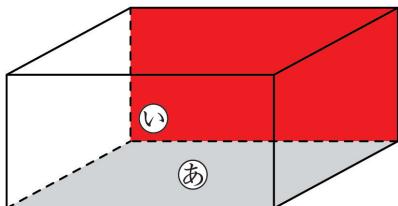


① 上の⑥の面と平行な面に、えんぴつで色をぬりましょう。

② 横の⑤の面と平行な面はどれでしょうか。

面 (⑥)

- ② 下の直方体を見て、答えましょう。



① 下の⑥の面に垂直な面は、いくつあるでしょうか。

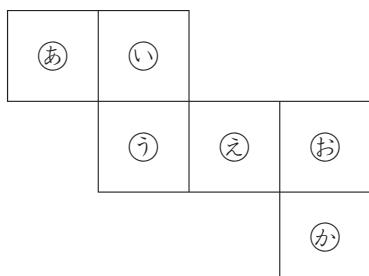
(4つ)

- ② ⑤の面に平行な面に、えんぴつで色をぬりましょう。

- ③ 直方体の面のように、平らな面を何というでしょうか。

(平面)

- ④ 下の展開図を組み立ててできる立方体で、面⑥と平行になる面はどれでしょうか。



面 (え)



125

16. 立体 ④

名前

勉強した日 月 日

ねらい

直方体、立方体の面と面、面と辺、辺と辺の垂直や平行について
調べる。

(考) 技 知

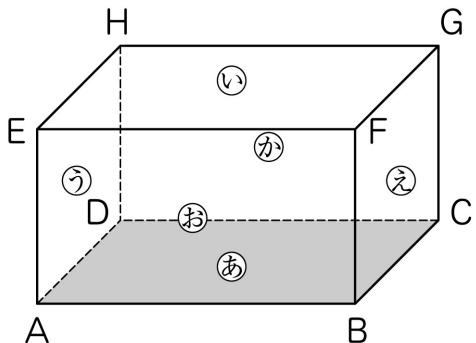
① 右の直方体を見て、答えましょう。

① Ⓐの面と垂直な辺を書きましょう。

(辺AE、辺BF、辺CG、辺DH)
 ※辺EA、辺FB、辺GC、辺HDでもよい。

② 辺EAと垂直な面を書きましょう。

(面Ⓐ、面Ⓑ)



② 右の直方体を見て、答えましょう。

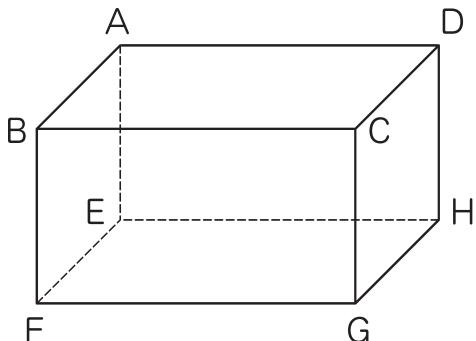
① 辺ABと平行な辺を書きましょう。

(辺EF、边DC、辺HG)

② 辺GHと垂直な辺を書きましょう。

(辺CG、辺DH、辺FG、辺EH)

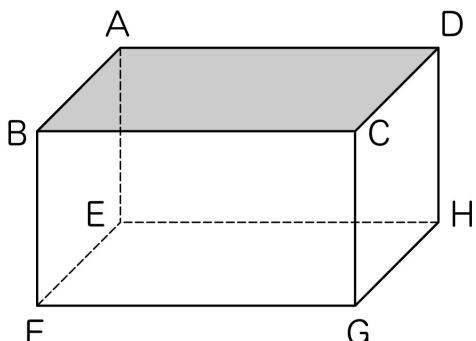
※辺BF、辺AEも正解の旨を解説(4年生以降で学習)



③ 右の直方体を見て、答えましょう。

面ABCDと垂直な面は、いくつあるでしょうか。

(4つ)



126

16. 立体 ⑤

名
前

組 番

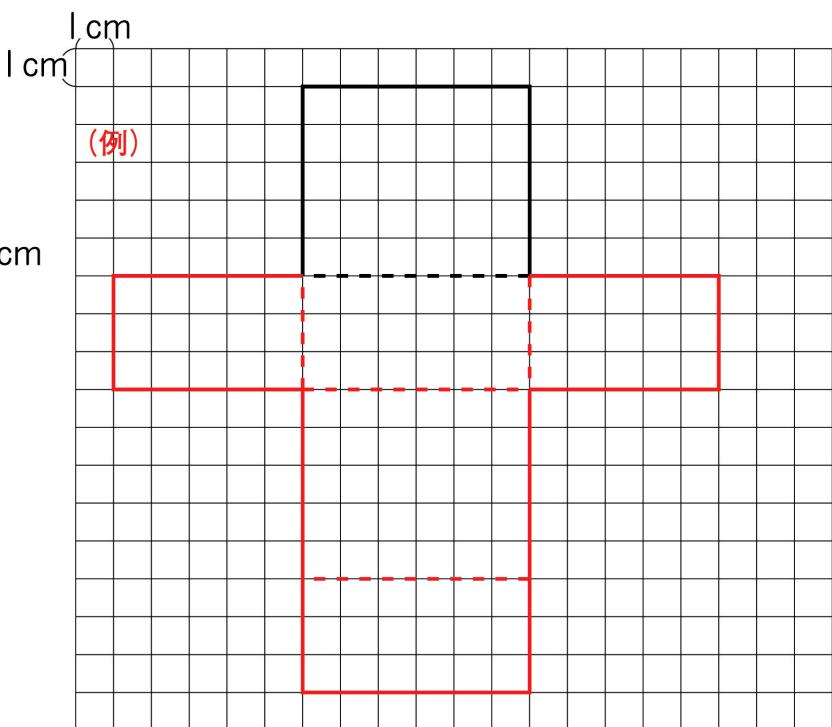
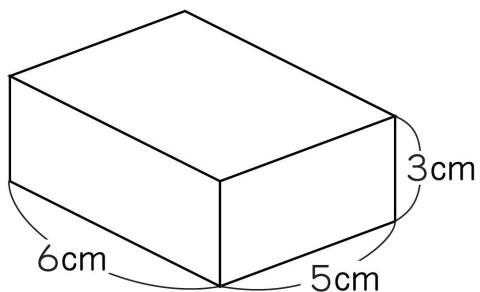
ねらい

展開図の意味を理解し、展開図をかくことができる。

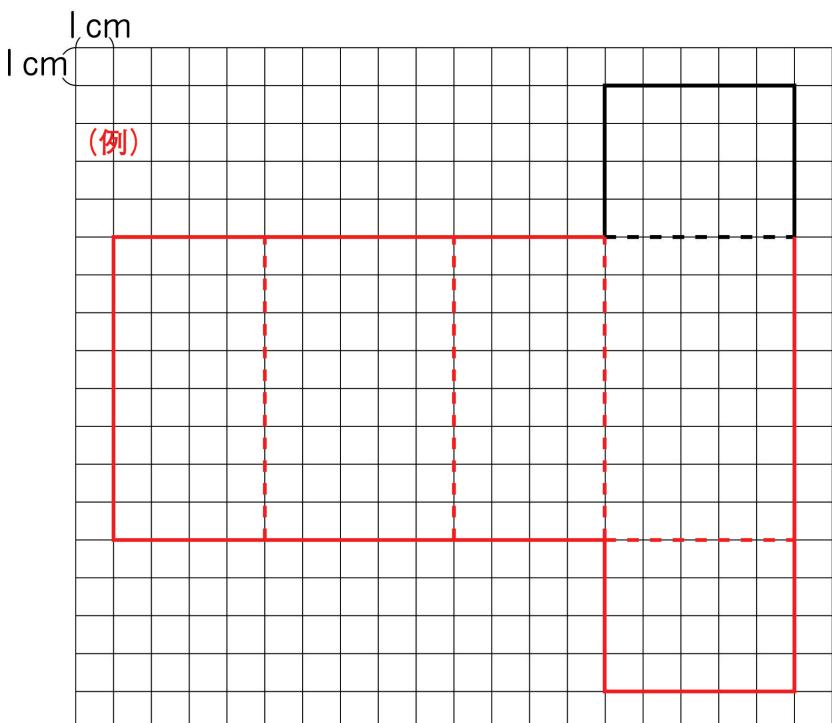
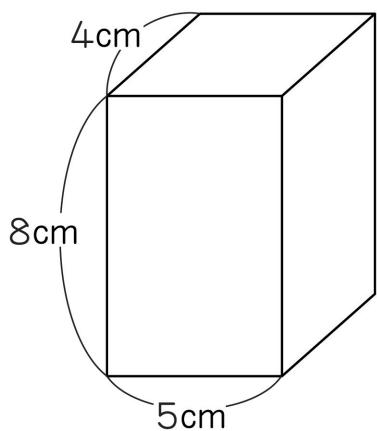
考 技(知)

- ① 次の直方体の展開図をつづけてかきましょう。(1目もりが1cmとします)

①



②



127

16. 立体 ⑥

名前

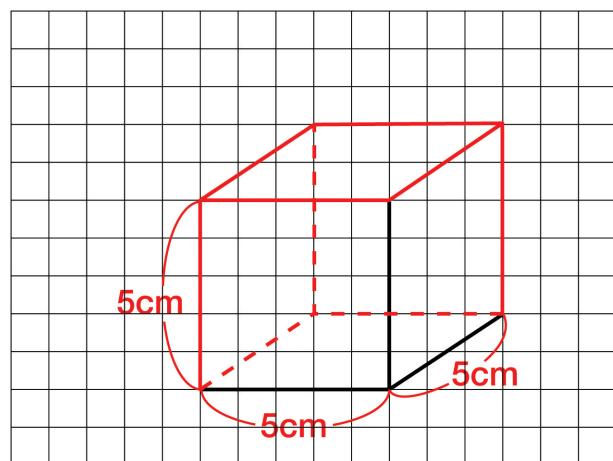
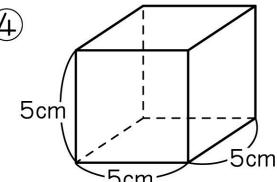
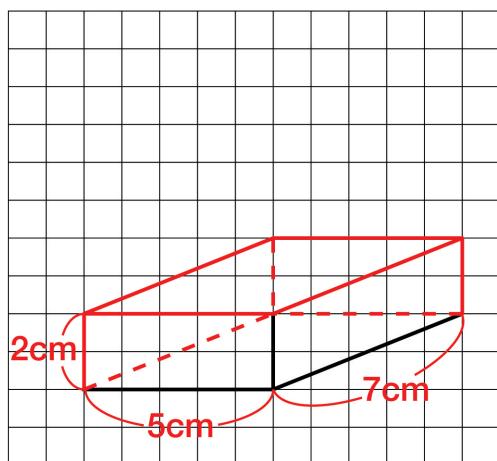
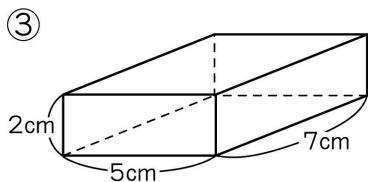
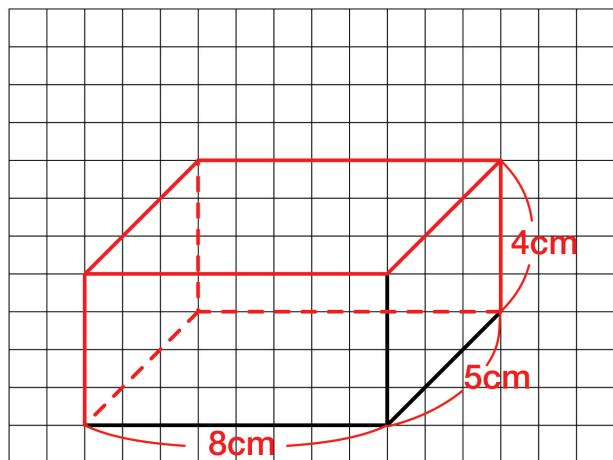
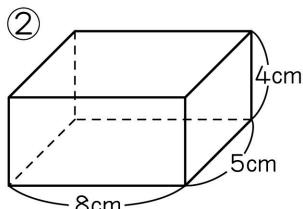
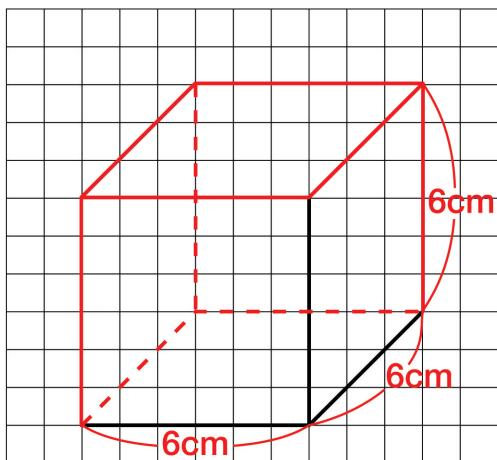
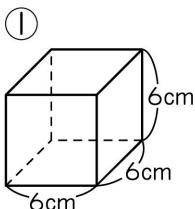
組 番

ねらい

見取り図の意味を理解し、直方体や立方体の見取り図をかくこと
ができる。

考 技(知)

- ① 次の立方体や直方体の見取り図をかきましょう。(1目もりが1cmとします)



128

16. 立体 ⑦

名
前

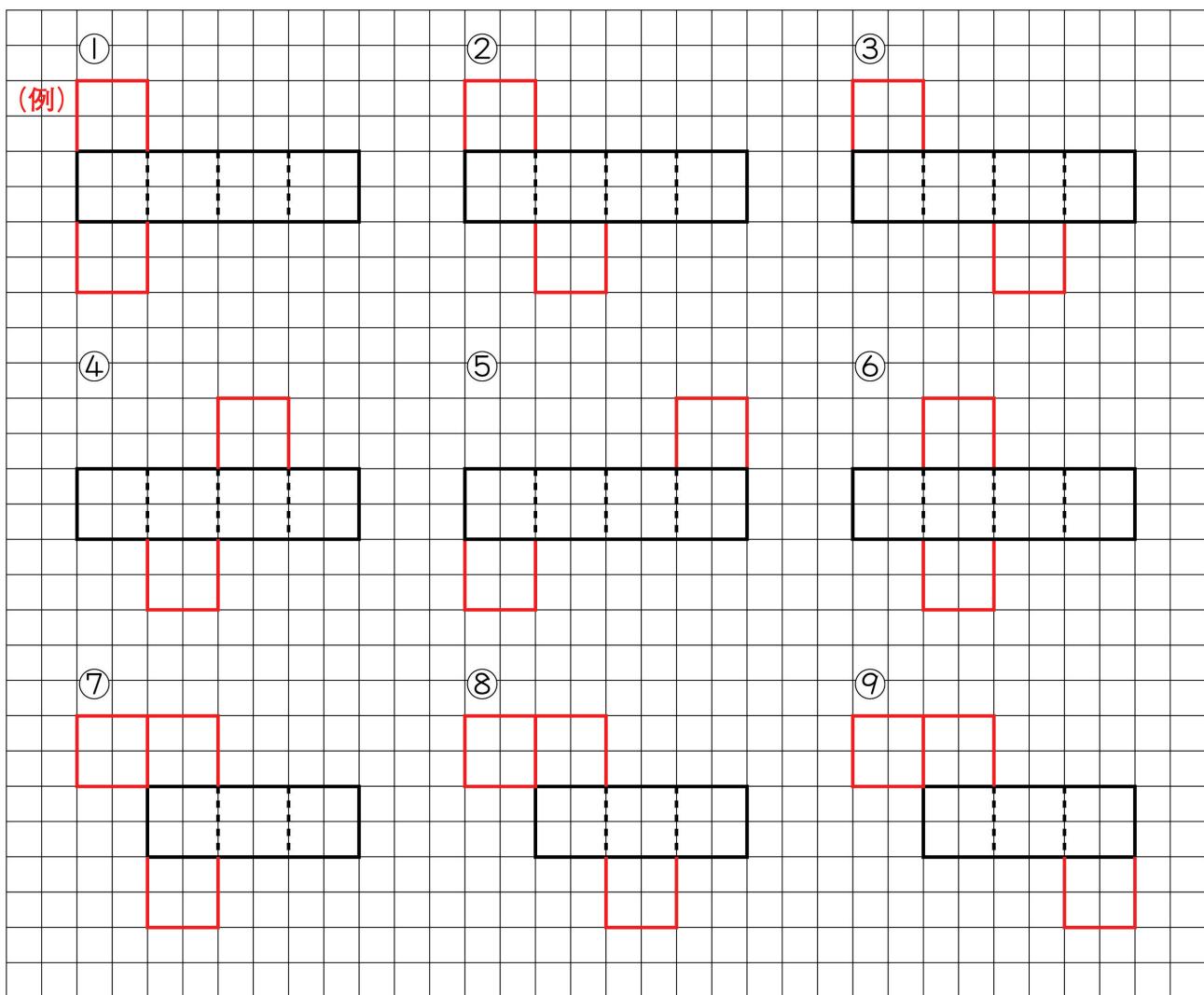
組 番

ねらい

立方体のいろいろな展開図を考え、面と面のつながりや立体図形と平面図形について理解を深める。

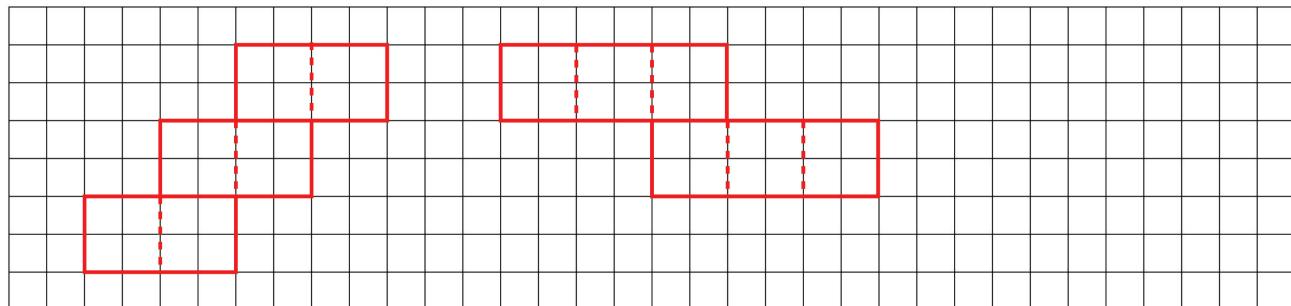
(考) 技 (知)

- ① 立方体の展開図のつづきをかいて、いろいろな展開図を完成させましょう。



- ② 上の展開図以外にあと2つあります。わかつたら、かきましょう。

(例) 上の①の展開図にない展開図



129

16. 立体 ⑧

名前

組番

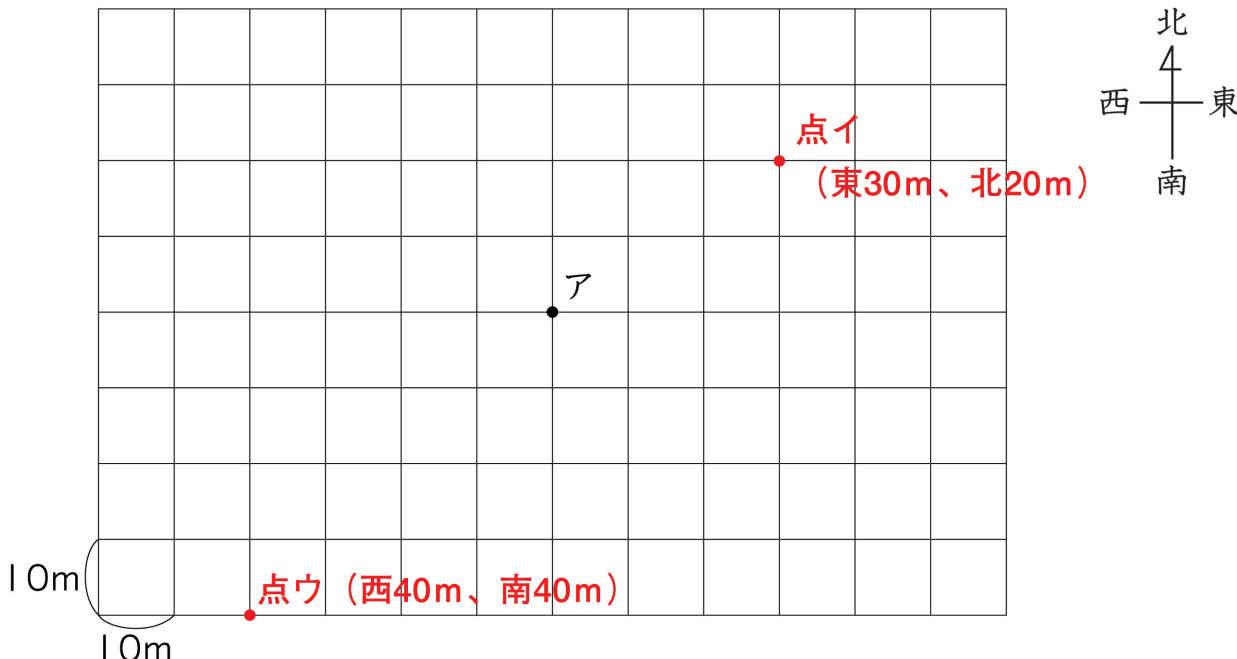
ねらい

平面の上にある点の位置、空間の中にある点の位置の表し方を考え、表すことができる。

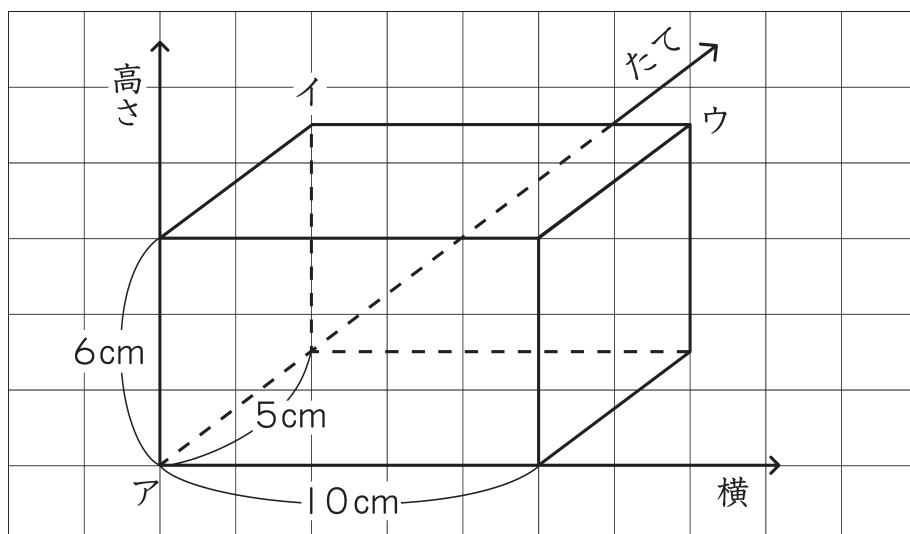
(考) (技) 知

- 1 下の図に、点アの位置をもとにして、点イ、点ウを書き入れましょう。

点イ (東 30m、北 20m) 点ウ (西 40m、南 40m)



- 2

※ 1目もりは
1cmです。

上のような直方体で、頂点アをもとにすると、頂点イ、ウの位置はどのように表すことができるでしょうか。

点イ (横	0 cm	たて	5 cm	高さ	6 cm)
点ウ (横	10cm	たて	5 cm	高さ	6 cm)



130

17. 分数の大きさと
たし算、ひき算 ①

名前

組 番

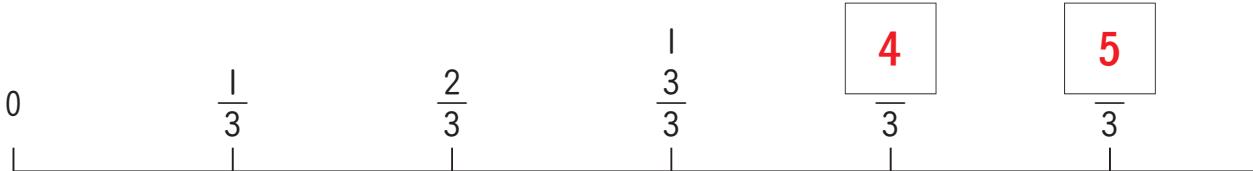
ねらい

1より大きい分数の表し方や、「帯分数」「仮分数」「真分数」の用語を理解する。

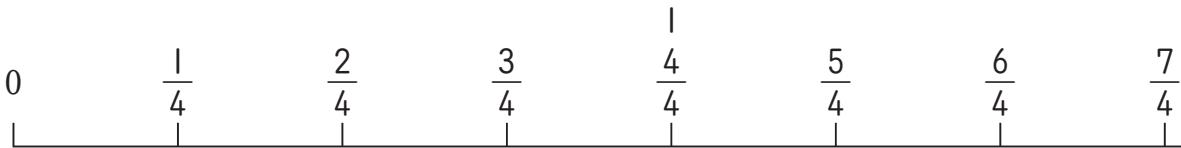
考技(知)

- ① $\frac{1}{3}$ の4こ分、5こ分の大きさを分数で表しましょう。

- ① 下の□に、それぞれの分子を書きましょう。



- ② 下の数直線を見て、答えましょう。



- ① $\frac{5}{4}$ は $\frac{1}{4}$ のいくつ分の大きさの分数でしょうか。

5つ分

- ② $\frac{5}{4}$ は1とどんな大きさの分数を合わせたのでしょうか。

 $\frac{1}{4}$

- ③ 下の()にあてはまる言葉を書きましょう。

- ① $\frac{1}{4}$ 、 $\frac{2}{3}$ 、 $\frac{3}{5}$ のように、分子が分母より小さい分数を(真分数)といいます。

- ② $\frac{3}{3}$ 、 $\frac{5}{2}$ 、 $\frac{6}{4}$ のように、分子が分母と等しいか、分子が分母より大きい分数を(仮分数)といいます。

- ③ $1\frac{3}{4}$ 、 $2\frac{2}{5}$ のように、整数と真分数の和で表されている分数を(帯分数)といいます。

- ④ 次の分数を真分数、仮分数、帯分数に分けて、記号で答えましょう。

- Ⓐ $3\frac{12}{14}$ Ⓑ $\frac{11}{7}$ Ⓒ $\frac{3}{3}$ Ⓓ $\frac{5}{9}$ Ⓔ $\frac{9}{12}$ Ⓕ $\frac{13}{8}$ Ⓖ $2\frac{6}{7}$ Ⓗ $\frac{3}{25}$ Ⓘ $1\frac{9}{10}$ Ⓙ $\frac{21}{16}$

- 真分数(Ⓑ、Ⓒ、Ⓓ) 仮分数(Ⓒ、Ⓔ、Ⓕ、Ⓖ) 帯分数(Ⓘ、Ⓗ、Ⓚ)



131

17. 分数の大きさと
たし算、ひき算 ②

名前

組 番

ねらい

「帯分数」「仮分数」「真分数」の大きさについて理解を深める。

考 技 (知)

- ① $\frac{7}{5}$ について、□にあてはまる数を書きましょう。



① $\frac{7}{5}$ は $\frac{1}{5}$ を 7 こ集めた数です。 ② $\frac{7}{5}$ は1と $\frac{1}{5}$ を 2 こ集めた数です。

③ $\frac{7}{5}$ は1より 2/5 大きい数です。 ④ $\frac{7}{5}$ は1と 2/5 を合わせた数です。

- ② 次の□にあてはまる数を書きましょう。

① 3Lと $\frac{1}{4}$ Lの和は 3 1/4 Lです。 ② 2mと 2/3 mの和は $2\frac{2}{3}$ mです。

③ 1/7 が6こ集まつた分数は $\frac{6}{7}$ です。 ④ 1/5 が5こ集まつた分数は $\frac{5}{5}$ です。

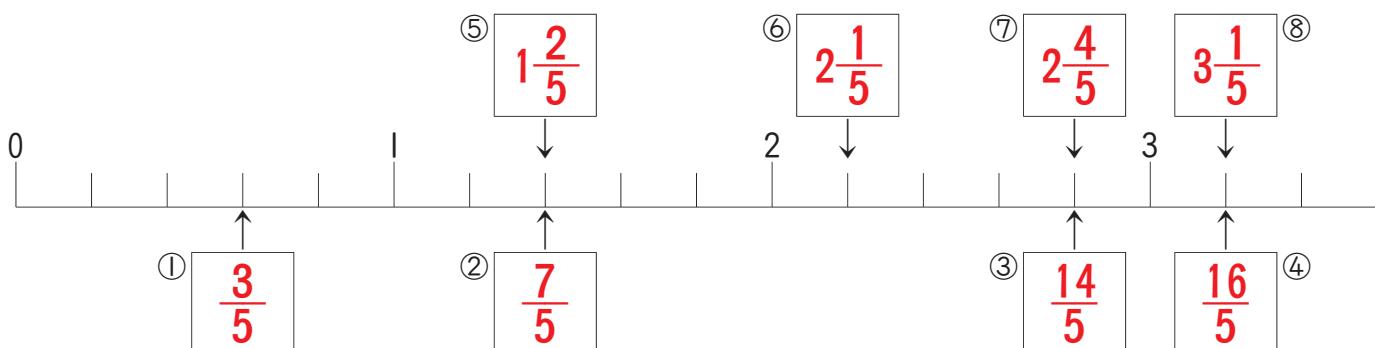
⑤ 2と $\frac{1}{8}$ の和は 2 1/8 です。 ⑥ 6と 5/6 の和は $6\frac{5}{6}$ です。

- ③ ()の中の数を、小さい順に不等号を使って書きましょう。

① (3 1/7 23/7 20/7) 20/7 < 3 1/7 < 23/7

② (34/6 5 5/6 6) 34/6 < 5 5/6 < 6

- ④ ①から④には真分数か仮分数、⑤から⑧には帯分数を書きましょう。





132

17. 分数の大きさと
たし算、ひき算 ③

ねらい

帯分数を仮分数に、仮分数を帯分数で表すことができ、
仮分数と帯分数の大きさの比較の仕方を理解する。

勉強した日 月 日

名前

組 番

考 技(知)

- ① 次の帯分数を仮分数になおしましょう。

$$\textcircled{1} \quad 1\frac{1}{3} = \boxed{\frac{4}{3}}$$

$$\textcircled{2} \quad 2\frac{1}{4} = \boxed{\frac{9}{4}}$$

$$\textcircled{3} \quad 1\frac{3}{10} = \boxed{\frac{13}{10}}$$

$$\textcircled{4} \quad 3\frac{2}{7} = \boxed{\frac{23}{7}}$$

$$\textcircled{5} \quad 3\frac{4}{5} = \boxed{\frac{19}{5}}$$

$$\textcircled{6} \quad 8\frac{1}{2} = \boxed{\frac{17}{2}}$$

$$\textcircled{7} \quad 2\frac{5}{6} = \boxed{\frac{17}{6}}$$

$$\textcircled{8} \quad 4\frac{3}{10} = \boxed{\frac{43}{10}}$$

$$\textcircled{9} \quad 4\frac{7}{8} = \boxed{\frac{39}{8}}$$

- ② 次の仮分数を帯分数か整数で表しましょう。

$$\textcircled{1} \quad \frac{30}{6} = \boxed{5}$$

$$\textcircled{2} \quad \frac{29}{7} = \boxed{4\frac{1}{7}}$$

$$\textcircled{3} \quad \frac{31}{5} = \boxed{6\frac{1}{5}}$$

$$\textcircled{4} \quad \frac{49}{8} = \boxed{6\frac{1}{8}}$$

$$\textcircled{5} \quad \frac{26}{3} = \boxed{8\frac{2}{3}}$$

$$\textcircled{6} \quad \frac{100}{10} = \boxed{10}$$

- ③ 下の図の長さやかさを仮分数、帯分数で求めましょう。

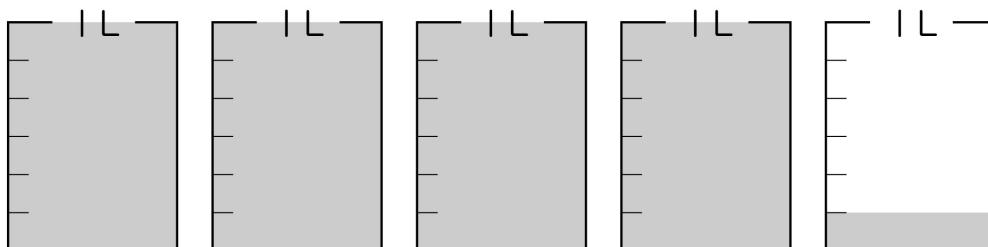
①



仮分数 $\boxed{\frac{13}{5}} \text{ m}$

帯分数 $\boxed{2\frac{3}{5}} \text{ m}$

②



仮分数 $\boxed{\frac{25}{6}} \text{ L}$

帯分数 $\boxed{4\frac{1}{6}} \text{ L}$



133

17. 分数の大きさと
たし算、ひき算 ④

名前

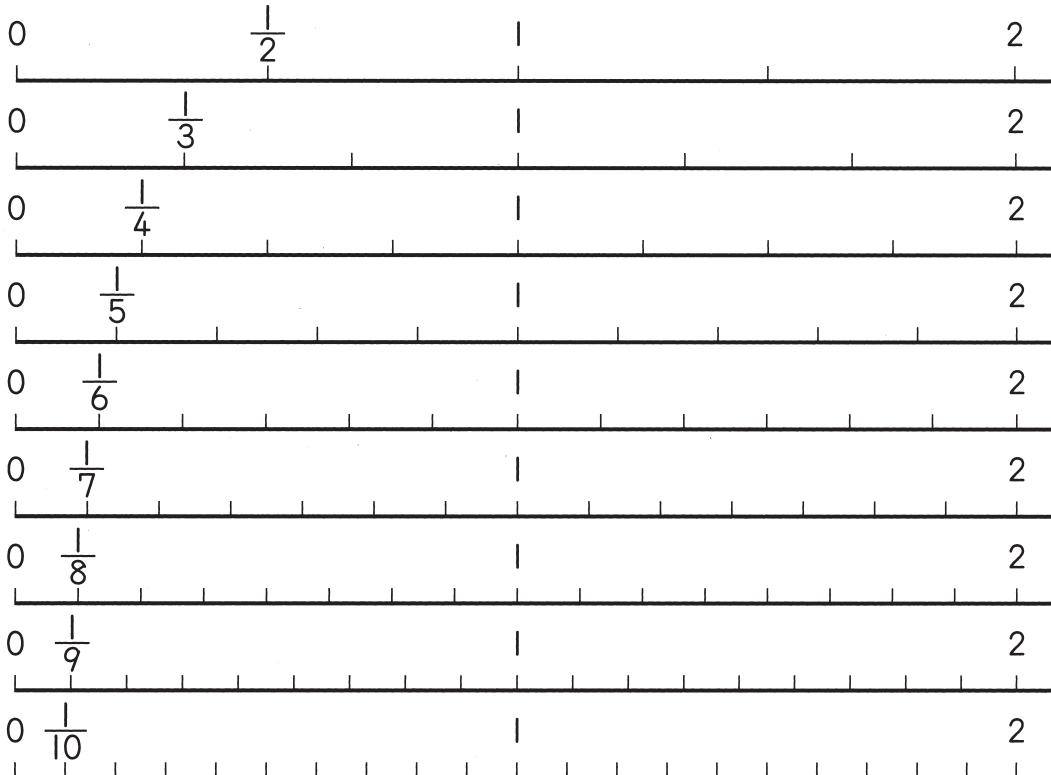
組 番

ねらい

大きな等しい分数があることを理解する。

考 技 (知)

- ① 下の数直線を見て、□にあてはまる数を書きましょう。



$$\textcircled{1} \quad \frac{1}{2} = \boxed{\frac{2}{4}} = \boxed{\frac{3}{6}} = \boxed{\frac{4}{8}} = \boxed{\frac{5}{10}}$$

$$\textcircled{2} \quad \frac{1}{3} = \boxed{\frac{2}{6}} = \boxed{\frac{3}{9}}$$

- ③ 上の数直線で0から2の間にある分子が2の分数を小さい方から順に書きましょう。

$$\frac{2}{10} \quad \frac{2}{9} \quad \frac{2}{8} \quad \frac{2}{7} \quad \frac{2}{6} \quad \frac{2}{5} \quad \frac{2}{4} \quad \frac{2}{3} \quad \frac{2}{2} \quad \frac{2}{1}$$

- ② 上の数直線を使って()の中の数を大きい順に並べ、不等号を使って書きましょう。

$$\textcircled{1} \quad (\frac{1}{8} \quad \frac{1}{3} \quad \frac{1}{6} \quad \frac{1}{4})$$

$$\frac{1}{3} > \frac{1}{4} > \frac{1}{6} > \frac{1}{8}$$

$$\textcircled{2} \quad (\frac{5}{10} \quad \frac{5}{2} \quad \frac{5}{7} \quad \frac{5}{5})$$

$$\frac{5}{2} > \frac{5}{5} > \frac{5}{7} > \frac{5}{10}$$



134

17. 分数の大きさと
たし算、ひき算 ⑤

名前

勉強した日 月 日

組 番

ねらい

同分母の真分数、假分数の加法計算の仕方を考える。

(考) 技 知

- ① $\frac{7}{6} + \frac{4}{6}$ の計算のしかたを考えましょう。

$\frac{7}{6}$ は $\boxed{\frac{1}{6}}$ が $\boxed{7}$ こ分

$\frac{4}{6}$ は $\boxed{\frac{1}{6}}$ が $\boxed{4}$ こ分

$\frac{7}{6} + \frac{4}{6}$ は $\boxed{\frac{1}{6}}$ が ($\boxed{7}$ + $\boxed{4}$) こ分になるから、

$\frac{7}{6} + \frac{4}{6} = \boxed{\frac{11}{6}}$ 帯分数になおすと、

$$= \boxed{1\frac{5}{6}}$$

- ② $\frac{9}{8} + \frac{11}{8}$ の計算のしかたを考えましょう。

$\frac{9}{8}$ は $\boxed{\frac{1}{8}}$ が $\boxed{9}$ こ分

$\frac{11}{8}$ は $\boxed{\frac{1}{8}}$ が $\boxed{11}$ こ分

$\frac{9}{8} + \frac{11}{8}$ は $\boxed{\frac{1}{8}}$ が ($\boxed{9}$ + $\boxed{11}$) こ分になるから、

$\frac{9}{8} + \frac{11}{8} = \boxed{\frac{20}{8}}$ 帯分数になおすと、

$$= \boxed{2\frac{4}{8}}$$



135

17. 分数の大きさと
たし算、ひき算 ⑥

ねらい 同分母の帶分数の加法計算の仕方を考える。

(考) 技 知

- ① $5\frac{1}{4} + \frac{3}{4}$ の計算のしかたを考えましょう。

〈整数と真分数に分けて考える〉

$$5\frac{1}{4} + \frac{3}{4} = \boxed{5} + \boxed{\frac{4}{4}} = \boxed{6}$$

- ① 整数どうしのたし算をする。

$$5 + 0 = 5$$

- ② 分数どうしのたし算をする。

$$\frac{1}{4} + \frac{3}{4} = \frac{4}{4}$$

- ③ 帯分数または整数になおす。

②

$$4\frac{5}{8} + 3\frac{7}{8} = \boxed{7} + \boxed{\frac{12}{8}} = \boxed{8\frac{4}{8}}$$

③

$$\frac{2}{9} + 2\frac{5}{9} + 3\frac{3}{9} = \boxed{3} + \boxed{\frac{7}{9}} + 3\frac{3}{9} = \boxed{6\frac{10}{9}} = \boxed{7\frac{1}{9}}$$

- ④ どのように計算したのかがわかるように、①～③のような矢印を書いて計算しましょう。

①

$$8\frac{4}{5} + 3\frac{2}{5} = \boxed{11} + \boxed{\frac{6}{5}} = \boxed{12\frac{1}{5}}$$

②

$$9\frac{4}{7} + 1\frac{3}{7} = \boxed{10} + \boxed{\frac{7}{7}} = \boxed{11}$$



136

17. 分数の大きさと
たし算、ひき算 ⑦

名前

勉強した日 月 日

組 番

ねらい

同分母の真分数、仮分数の減法計算の仕方を考える。

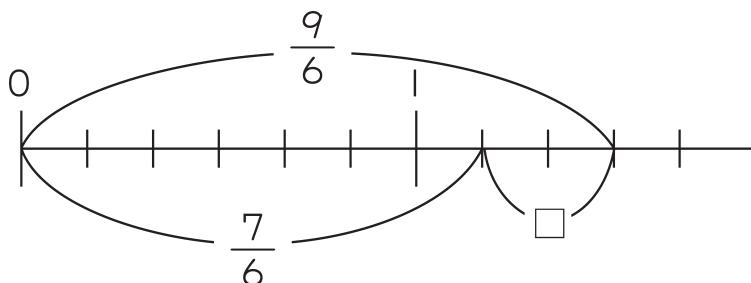
(考) 技 知

- ① $\frac{9}{6} - \frac{7}{6}$ の計算のしかたを考えましょう。

$\frac{9}{6}$ は $\boxed{\frac{1}{6}}$ が $\boxed{9}$ こ分 $\frac{7}{6}$ は $\boxed{\frac{1}{6}}$ が $\boxed{7}$ こ分

$\frac{9}{6} - \frac{7}{6}$ は $\boxed{\frac{1}{6}}$ が ($\boxed{9}$ - $\boxed{7}$) こ分になるから、

$$\frac{9}{6} - \frac{7}{6} = \boxed{\frac{2}{6}}$$



□にあてはまる数は

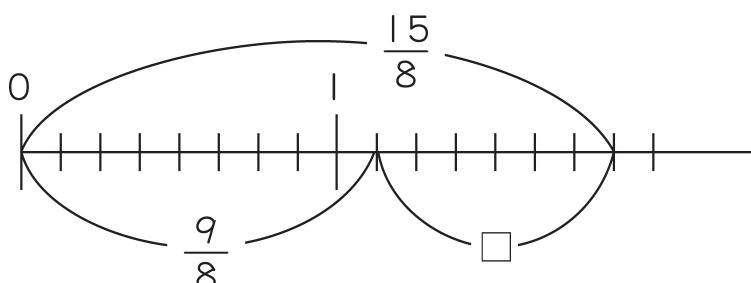
$$\boxed{\frac{2}{6}}$$

- ② $\frac{15}{8} - \frac{9}{8}$ の計算のしかたを考えましょう。

$\frac{15}{8}$ は $\boxed{\frac{1}{8}}$ が $\boxed{15}$ こ分 $\frac{9}{8}$ は $\boxed{\frac{1}{8}}$ が $\boxed{9}$ こ分

$\frac{15}{8} - \frac{9}{8}$ は $\boxed{\frac{1}{8}}$ が ($\boxed{15}$ - $\boxed{9}$) こ分になるから、

$$\frac{15}{8} - \frac{9}{8} = \boxed{\frac{6}{8}}$$



□にあてはまる数は

$$\boxed{\frac{6}{8}}$$

137

17. 分数の大きさと
たし算、ひき算 ⑧名
前

組 番

ねらい 同分母の帶分数の減法計算の仕方を考える。

(考) (技) 知

- ① $3\frac{1}{10} - 2\frac{4}{10}$ の計算のしかたを考えましょう。

<整数と仮分数に分けて考える>

$$3\frac{1}{10} - 2\frac{4}{10} = 2\frac{\boxed{11}}{10} - 2\frac{4}{10} = \boxed{\frac{7}{10}}$$

- ② $7 - 3\frac{4}{9}$ の計算のしかたを考えましょう。

$$7 - 3\frac{4}{9} = 6\frac{9}{9} - 3\frac{4}{9} = \boxed{3} \frac{\boxed{5}}{9}$$

- ③ 上のやり方で、計算しましょう。

$$\begin{aligned} ① \quad 4\frac{3}{8} - 2\frac{5}{8} &= 3\frac{11}{8} - 2\frac{5}{8} \\ &= 1\frac{6}{8} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} ② \quad 3 - 1\frac{1}{13} &= 2\frac{12}{13} - 1\frac{1}{13} \\ &= 1\frac{12}{13} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} ③ \quad 3\frac{7}{12} - 2\frac{10}{12} &= 2\frac{19}{12} - 2\frac{10}{12} \\ &= \frac{9}{12} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} ④ \quad 10 - 4\frac{5}{6} &= 9\frac{6}{6} - 4\frac{5}{6} \\ &= 5\frac{1}{6} \end{aligned}$$



138

17. 分数の大きさと
たし算、ひき算 ⑨

名前

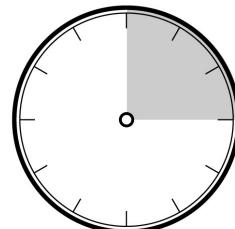
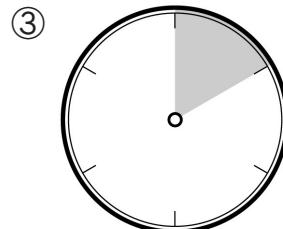
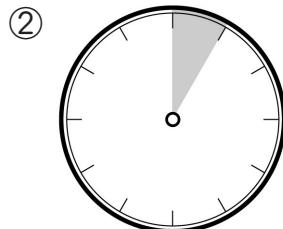
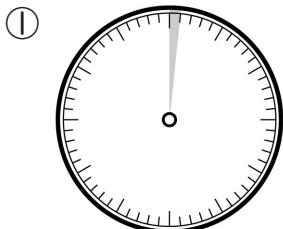
組 番

ねらい

時間を分数を用いて表し、大きさの等しい分数についての理解を深める。

考 技 (知)

- ① □にあてはまる数を書きましょう。



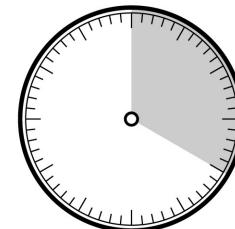
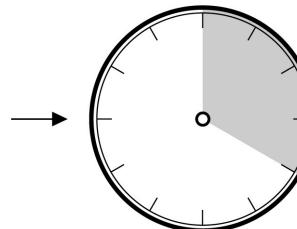
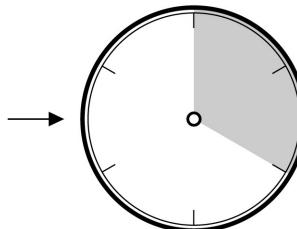
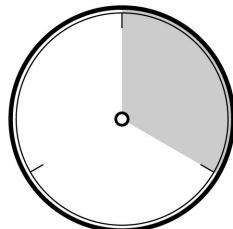
① 1分は1時間の 60 等分したうちの1つだから $\frac{1}{60}$ 時間

② 5分は1時間の 12 等分したうちの1つだから $\frac{1}{12}$ 時間

③ 10分は1時間の 6 等分したうちの1つだから $\frac{1}{6}$ 時間

④ 15分は1時間の 4 等分したうちの1つだから $\frac{1}{4}$ 時間

- ② 時間を分数に表す方法を使って、 $\frac{1}{3} + \frac{1}{6}$ の計算のしかたを考えましょう。

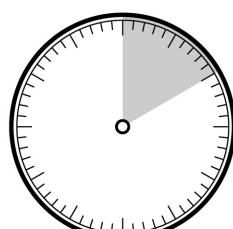
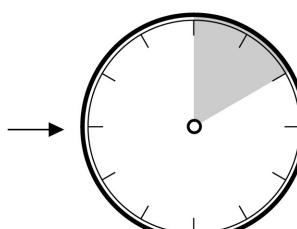
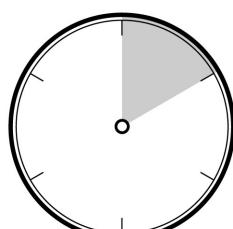


20分きざみで
 $\frac{1}{3}$ 時間

10分きざみで
 $\frac{2}{6}$ 時間

5分きざみで
 $\frac{4}{12}$ 時間

1分きざみで
 $\frac{20}{60}$ 時間



10分きざみで
 $\frac{1}{6}$ 時間

5分きざみで
 $\frac{2}{12}$ 時間

1分きざみで
 $\frac{10}{60}$ 時間

$$\begin{aligned}\frac{1}{3} + \frac{1}{6} &= \boxed{\frac{2}{6}} + \boxed{\frac{1}{6}} \\ &= \boxed{\frac{4}{12}} + \boxed{\frac{2}{12}} \\ &= \boxed{\frac{20}{60}} + \boxed{\frac{10}{60}}\end{aligned}$$